

経営比較分析表（令和元年度決算）

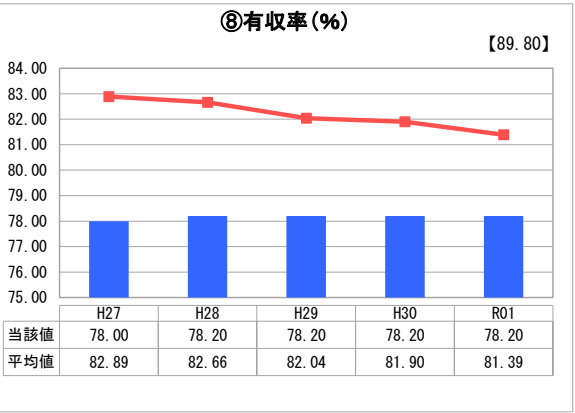
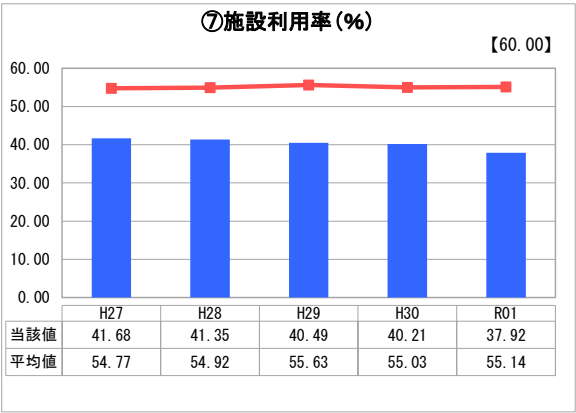
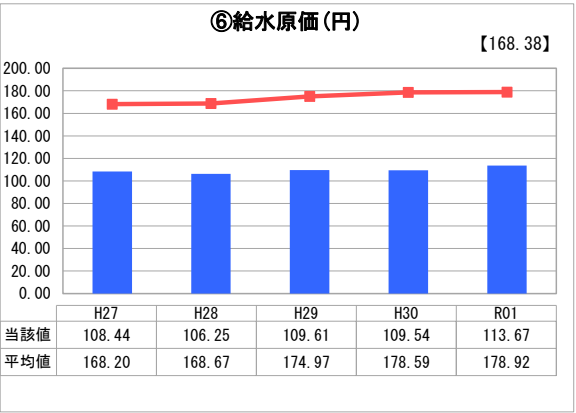
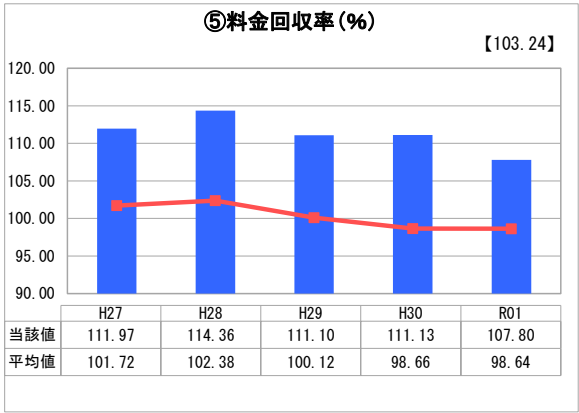
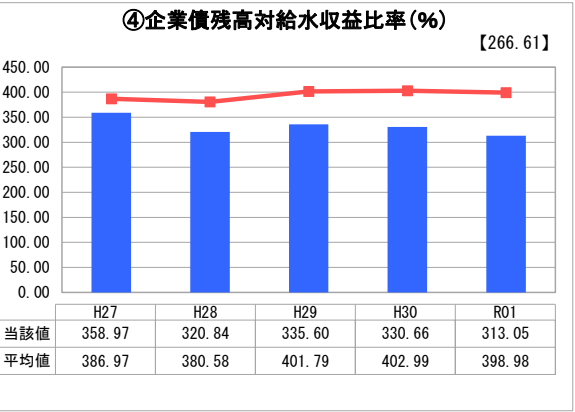
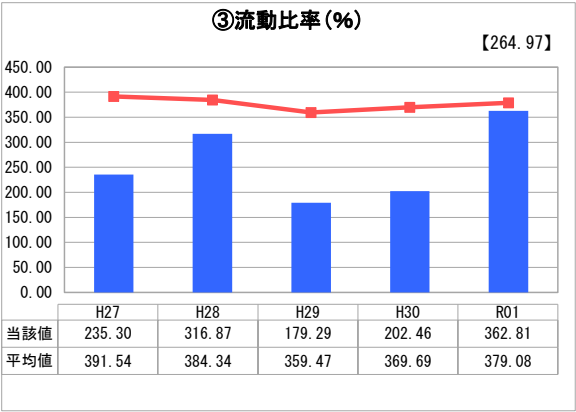
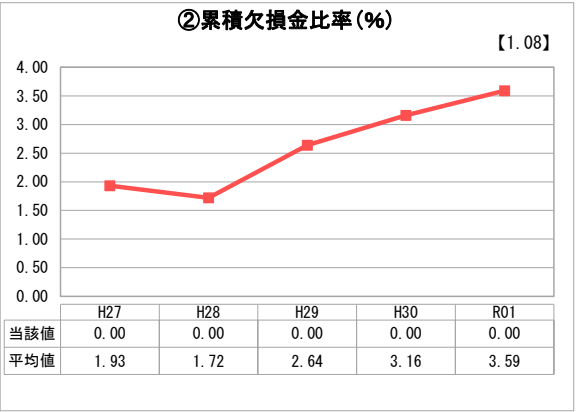
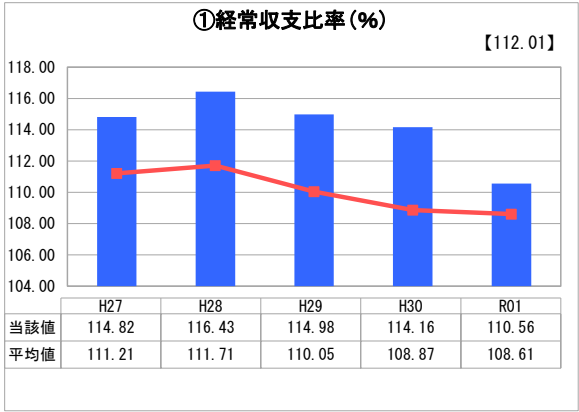
群馬県　みなかみ町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A6	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	69.86	99.70	2,470	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
18,692	781.08	23.93
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
17,896	205.51	87.08

■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



1. 経営の健全性・効率性について

①給水収益の減少に伴い、経常収支比率は低下傾向にある。引き続き費用削減し、更新投資に充てる財源の確保に努める。

②累積欠損金比率は0%ではあるが、人口の減少に伴い給水収益は毎年減少している。また、施設の老朽化により今後の維持管理費は多額になることが見込まれるため、計画的な維持管理が求められている。

③流動比率は上昇しているものの、流動資産である現金が減少している。今後もバランスのとれた債務管理が必要と思われる。

④企業債残高が減少したため、企業債残高対給水収益比率が上昇した。今後も比率と投資規模を考慮した上で企業債の借入を実施する。

⑤給水収益の減少に伴い、料金回収率は低下傾向にある。引き続き費用削減し、更新投資に充てる財源の確保に努める。

⑥給水面積が広く、施設が広範囲に点在していて維持管理には不利な条件だが、給水原価は類似団体や全国平均より低い。維持管理費が低く抑えられていることが分かる。

⑦施設利用率は徐々に低下している。原因は給水人口の自然減によるものとする。

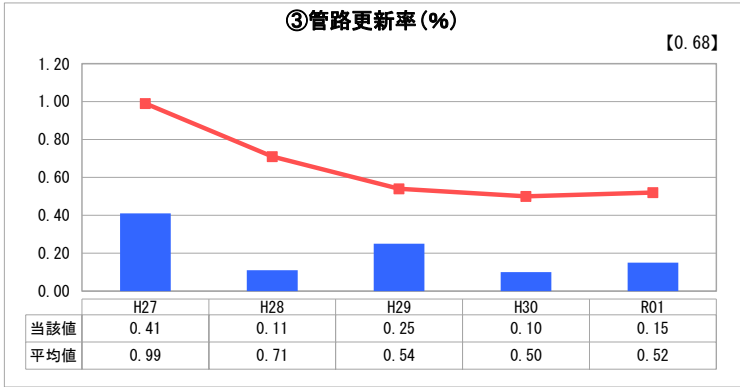
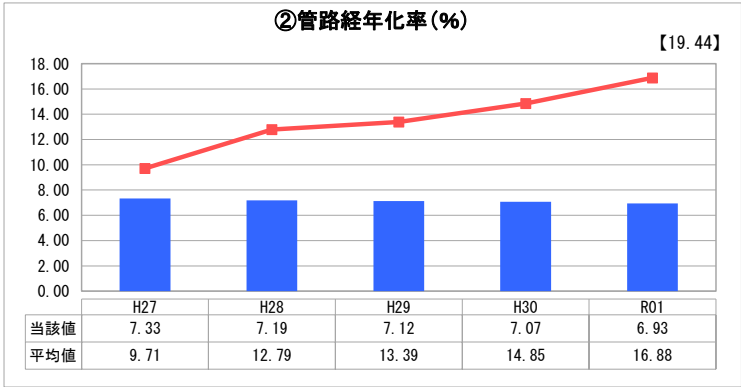
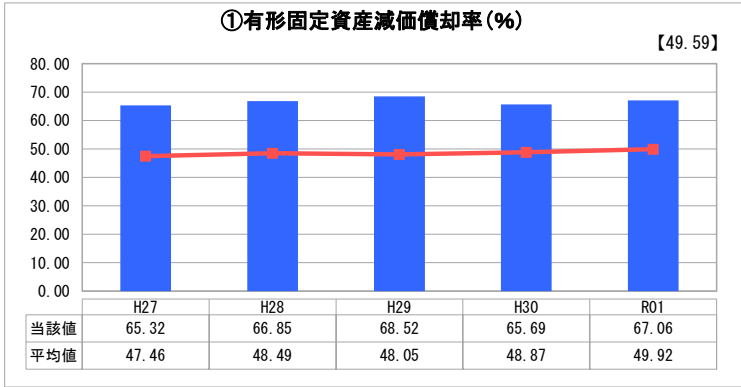
⑧有収率はほぼ横ばいであるが、類似団体や全国平均と比較すると低い数値である。漏水が原因と思われる。

2. 老朽化の状況について

①②③
老朽管更新計画はあるものの、資金面の課題から、計画的どおりの事業実施に至っていない。

耐用年数を経過した施設は複数あるため、各施設の維持管理に注意しながら、緊急的なものから改修改修を行っていきたい。

2. 老朽化の状況



全体総括

類似団体と比較すると⑦施設利用率と⑧有収率が低いので、対応を検討し効率性を見直す必要がある。また、その他の指標から経営の健全性は保たれていると言えるが、徐々に悪化傾向にあるため、今後も経営改善に努めたい。

給水収益の減少、施設の老朽化が進む中で、効率的な事業展開が求められている。水需要の動向を踏まえ、老朽化した施設の更新や財源確保の検討を進め、水の安定供給を図る。